

前立腺がんとってどんな病気

こんにちは。皆さんは前立腺がんという言葉はよく耳にすることがあるかと思いますが、どんな病気なのでしょうか？ もしかすると前立腺自体よくご存じないかもしれません。

前立腺は男性の膀胱の出口付近にあり、尿道を取り囲むように位置します。前立腺が肥大するとおしっこが悪くなったり近くなったり、ひどいときにはおしっこを出せなくなることもあります。ただ肥大症とは違い初期の前立腺がんでは症状はまったくありません。進行すれば骨に飛んで激しい痛みが出たりします。前立腺がんは転移する前に治療を行えば完全に治る可能性が非常に高い病気です。反対に進行すると治すことが難しい病気です。転移性前立腺がんの5年相対生存率は約60%とされています。また、前立腺がんの治療ではホルモン療法が有効ですが、転移して見つかったと低リスクのがんであっても52%はホルモン療法の効果がない去勢抵抗性前立腺がんになるという報告もあります。この状態になると治療は厳しい状況になっていきます。つまり、前立腺がんは転移する前と後では状況が全く異なります。

では早期に前立腺がんを見つけるためにはどうしたらよいのでしょうか？ まずは健診、ドックの際にPSA検査（採血検査で前立腺がんの腫瘍マーカー）を受けて頂くことが大切です。PSA値が高ければ泌尿器科を受診しましょう。がんが疑われればMRI検査を行い、必要に応じて前立腺の組織検査である前立腺生検が予定されます。

当科では、より正確な診断が可能な標的生検（MRI所見でがんが疑われる部分をピンポイントに狙える組織検査）を先進医療の時代から行ってきました。痛みのないよう腰椎麻酔（下半身麻酔）をかけて行うため、1泊の入院を要しますが翌日からは通常の生活が出来ます。

また、治療ではロボット支援下前立腺全摘除術を13年前に導入しています。薬物療法にも多くの患者さんが通院されています。前立腺に関して不安、お悩みのある方は、泌尿器科外来スタッフに気軽にお声かけ下さい。



（泌尿器科 科長 細井隆之）

～図書紹介～

新刊図書の一部です



Spring
恩田陸

少年は八歳でバレエに会い十五歳で海を渡った。同時代に巡り合う踊る者、作る者、見る者、奏でる者、それぞれの情熱がぶつかり合い、交差する。一人の天才をめぐる長編小説。



恋とか愛とかやさしさなら
一穂ミチ

プロポーズされた翌日、彼が盗撮で捕まった。通勤途中に女子高生を盗撮したことで二人の関係は一変。彼の起こした犯罪は人々を巻き込み思わぬ波紋を巻き起こしていく。



人魚が逃げた
青山美智子

ある三月の週末、SNS 上で「人魚が逃げた」という言葉がトレンド入りした。どうやら王子という青年がそう語っているらしい。彼の不可解な言動に人々は徐々に興味を持ち始める。



女性の尿もれ、尿トラブル
セルフケアと治療で快適な日々を
加藤久美子

「尿がもれる」「トイレが近い」「尿が出にくい」などの尿トラブルでやりにくいことを我慢したり諦めたりしていませんか。誰にでも起こりえることです。諦めずに改善しましょう。



図解いちばんわかりやすい頸椎症とストレートネックの治し方
田村睦弘

加齢だけではない。ストレートネック、スマホ首が首の病気を引き起こす。首が痛い時の間違った対処法に要注意!



無理なくやせる科学的メソッド
肥満外来
高倉一樹

ダイエットはイベントではない「小さく続けられること」を選ぶ人が成功する。医療で見過ごされがちな「肥満」という大きなリスク。

お勧めの一冊

ももこの世界あっちこっちめぐり

さくらももこさんの目線で世界を旅する旅エッセイです。1996年5月から10月までの約半年間、雑誌『non-no』編集部から「好きなところへ行って、好きなことをしてください」と依頼されたことをきっかけに、世界をめぐる旅がスタートしました。最初の目的地は、大好きな手描きのお皿に惹かれたスペイン。夫のトラブルから始まる展開も、ももこ節で思わずくすっと笑わせてくれます。小学生の頃に父ヒロシが「行きたい」と話していたことを覚えていて、グランドキャニオンへ。花輪くんには何度もパリへ行かせているのに、実は自身は初訪問という意外さも魅力です。感動も驚きも、思いもよらない出会いやハプニングもすべてひっくりめて描かれるのが、ももこの旅。31歳になった感性豊かなちびまる子ちゃんと一緒に世界旅行へ出かけてみませんか。



(薬剤科 香内綾)

【お知らせ】

まだまだ朝晩の冷え込みは強いですが、あたりの景色はなんとなく春めいてきました。今年は雪が少なく、大変助かりました。会津地域は、花粉の飛散量はまだ少ないようですが、徐々に症状が出始まっているようです。花粉症の方は早めに内服を開始し、症状悪化の予防に努めてください。さて、がん相談支援センターにおきましては、患者さんやご家族の方が気軽に活用できるように、または必要な情報をお届けできるように対策を立てています。今後はがん治療に役立つような情報や生活に必要な情報等が得られるようにパンフレットを作成し、各科外来や化学療法室等でお渡ししたいと思っています。相談したいことや聞いて欲しいこと、お困りごとがあれば、お気軽に1階受付カウンターA5【がん相談支援センター】にお声がけ下さい。3月は季節の変わり目であり、体調を崩しやすい時期でもありますので、くれぐれもお身体ご自愛ください。

がん相談支援センター 古沢